

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第1区分  
 【発行日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【公開番号】特開2007-97477(P2007-97477A)  
 【公開日】平成19年4月19日(2007.4.19)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-015  
 【出願番号】特願2005-291298(P2005-291298)  
 【国際特許分類】

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

C 1 2 M 1/38 (2006.01)

C 1 2 N 15/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/00 A

C 1 2 M 1/34 Z

C 1 2 M 1/38 Z

C 1 2 N 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月25日(2007.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生化学処理装置であって、

核酸を増幅させるための溶液を所定の温度に加熱するサイクルを繰り返し行うためのサーマルサイクル部と、

前記サーマルサイクル部にて用いられる溶液の保冷を行なうための保冷部と、

前記サーマルサイクル部にて増幅された核酸を含む核酸溶液を精製するための精製部とを有し、

前記サーマルサイクル部と前記保冷部の間に、前記精製部が設けられていることを特徴とする生化学処理装置。

【請求項2】

少なくとも標識された標的核酸を増幅させるためのPCRを行うウェル、

核酸溶液の精製を行うウェル、

前記PCRにて用いられる溶液を収容するウェル、

が一体化された反応・保存容器を有する請求項1記載の生化学処理装置。

【請求項3】

前記サーマルサイクル部のサーマルサイクルブロックと、前記保冷部の冷却ブロックとを保持する上下に移動可能な保持板を有する請求項1記載の生化学処理装置。

【請求項4】

前記サーマルサイクル部は、核酸を増幅させるためのウェルの上方に加熱ユニットを有する請求項1記載の生化学処理装置。

【請求項5】

前記精製部の溶液を吸引するためのピペット又は前記精製部に溶液を吐出するためのピペットを備える請求項1記載の生化学処理装置。

## 【請求項6】

前記精製部に磁石が近づくように動く、磁石固定部材を備える請求項1記載の生化学処理装置。

## 【請求項7】

核酸を増幅させる第1PCRを行うための溶液が収容された第1のウェルと、  
磁性粒子溶液が収容された第2のウェルと、  
標識された標的核酸を増幅させる第2PCRを行うため溶液が収容された第3のウェルと、を有し、少なくとも  
前記第1のウェルと、前記第3のウェルとの間に前記第2のウェルが配置されていることを特徴とする保存容器。